

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月

学校法人 常盤学園
新屋幼稚園
西町幼稚園

1. 本園の教育目標

意欲をもって頑張る子

- ・生き生きと活動する子
- ・思いやりのある子、感動する子、健康な子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・一人ひとりが、自分の感じたことや考えたことを言葉などに表し、行動し、互いにやり取りをしながら深めていく
- ・たくましい子を育てよう！

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況	評価
1 本園の教育目標を理解し、改訂された幼児教育要領をもとに保育に生かされたか	教育要領改訂(H31)から非認知能力を育てるような関わりを重視しているが、保育者自身が見える保育…既成の教育の中で育ってきている為か、見えない部分の気持ちに寄り添ったり、そこを重視する子どもへの声かけ、活動に苦慮してきた。 子どもの主体性を大事にしようと模索しながら取り組んできた。	B
2 教育の質向上のために、園内外の研修を充実させる	新型コロナウイルス感染防止の為、園外での研修参加ができず三年目となる。 今年度はオンラインでの研修参加も増えてきたが、長年続いている対面での研修(絵画研修)では、外部講師や他園との関わりもなかった。しかし反対に、園内において専門書をみながら保育者同士が主体的に学ぶことができた。	B
3 発達支援を要する園児の支援と保護者との相談をしていく	焼津市子ども相談センターにおいて巡回相談(保護者同意あり)と繋がりをもち、子ども、保護者、園、市が一体となって幼児理解と支援を行ってきた。個別に支援をする子が増えてきた。 家庭環境からくる子どもの表れ(サイン)なのか、発達障害の傾向があるのか、見極めが難しい。又、そのようなご家庭への連携も繋がりにくいが、母親の気持ちを聞きながら連携に心がけたい。	B
4 安全管理 新型コロナウイルス感染症対策 I C T(連絡アプリ)の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止に今年度も対策を講じてきた学級閉鎖、休園なく過ごせたが、行事の縮小、活動の延期をし、P T Aの方々にも充分協力して頂けた。 ・バス置き去り事件を通して、バス内人数把握、チェックの対応、バス内防犯ブザー等、園児、職員への周知、保護者へ当園対応を報告 ・全園児の出欠席確認、日常生活の中で人数把握に心がけた。 保護者には登園時ホワイトボードにお子さんのネームプレートをつけて頂き、登園したことの確認の目安にした。降園時にもネームプレートと共に園児の引き渡しをするようにした。 ・防犯セキュリティとして正門を施錠(ドアフォン)を設置。 保護者ネームフォルダーをして来園が徹底され、防犯に備えた。 ・アレルギー児(エピペン使用児)、一型糖尿病児の受け入れの中、看護師、保育室の配置をして頂いた。保育士の専門外の中今まで対応してきたが、様々な病気、ケガ、感染症 対策等相談する場が設けられ、職員、保護者も安心して園児の対処ができるようになった。 ・上記を含めて、危機管理マニュアル、安全保健計画の見直しをした。 	A
5 労働基準法に基づく対応	社会労務士(小山様)を通し就業規則の見直しをした。 職員の休憩の取り方、有給休暇の取り方等、実態をみると難しいが、打合せ時間、仕事の段取り等、各々が工夫して取り組む努力はしたが、今までと同じことをしようとする難しいと感じた。 上記のことを重視するが園内研修、話し合いの時間が少なくなり、職員間のコミュニケーション不足が今後の課題となる。 経理においては、労働時間が毎日超過している。	D

評価 (A…十分に成果あり B…成果あり C…少し成果あり D…成果なし)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>バス置き去り事件、不適切保育の報道等、教職員は一生懸命毎日園児と関わり、各々がプロという自信をもって子どもに関わっている中で、報道に心を揺さぶられ「もし、自分にも起こってしまったらどうしよう」という不安と、今までの保育はどうだったか?と落ちてしまふ教職員でした。職員会を設け、一人ひとりが今何を感じているか、職員皆で思いの共有ができる「皆も同じ気持ちでいるんだ」と思い、安心と心強さになったことを職員と話し合いました。「命の大切さ」を感じ、皆で見直しをし、保護者も協力して下さり、安心して預けられますとの意見もあった。</p> <p>又、県・市の実態調査では、危機管理体制ができていると指導頂いた。</p>

評価 (A…十分に成果あり B…成果あり C…少し成果あり D…成果なし)

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 職員間の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の取り組みを大事にしていく (絵画研修…絵の見方、子ども一人一人の関わり方) (リトミック研修…何が育つかを研究) (絵本研修…絵本の重要性、読み聞かせ方) ・主体的に自分の気持ち、考えを発言し、共通理解をもって連携していくと共に、自ら学ぶ姿勢をもっていく
2 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理、安全保健計画マニュアル等、教職員間で共通理解する。 常に園児の行動を視野に入れ、安全対策、出席人数、点呼、健康管理、アレルギー児等の食事配慮に注視する。
3 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態発生への連絡を密にする ・行事等、PTA会長、役員と連携していく ・発達支援が必要な園児の保護者との連携 教育相談、意見に応じていく一園長に繋げる ・園児一人ひとりの生活の様子等、連絡(スクールバス児)を密にしていくことで、園児の気持ちを共有できるようにする
4 労働基準法に基づく対応	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の業務が多忙な為、非常勤教諭、支援員(教諭免許無)、雑務、経理補助員の採用をして頂く 教職員の業務の軽減を図る ・職員会議、行事等の時間外手当ての支給(申請する者に対して) ・休憩時間を設定…自由時間(1時間)として取り入れていく ・有給休暇が平日でも取れるようになるべくさせてあげたい

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・コロナ禍で三年間、園に出向くことができず、園の様子は園だよりを見て大変だろうなと感じていた。5類になつたらまた来園できる。楽しみにしている。
- ・幼保一元化、ジェンダー平等、女性の社会進出、働く女性の受け皿として幼稚園があり、存在価値は社会的に非常に高いと思う。
常盤学園も一生懸命さが色々な人から評価を聞き喜ばしいと思う。
子ども達が安心、安全に園に通い、幼児教育を受けられることを期待している。
- ・市でもコミュニティスクール、地域と学校が一緒になってやっていこう!と提案がある。
地域で応援できることはやっていきたい。
- ・保育士の数が減っている。預かり保育児が多い。職員の休憩時間、有給休暇がとれない。
いっぱいいっぱいの時ミスに繋がりやすい。非常勤の保育士が担任にできないか。
- ・新屋幼稚園の存続について、少子化だが、もっとアットホームの良さをアピールできないか。
園児数、保育士数の問題があるが、一番古い園であり、常盤学園の目指す保育を残して欲しいと思う。